

肉量肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「平茂夏」の作出

平成11年度産肉能力検定（直接法）で選抜された候補種雄牛6頭について、平成14年度に同検定（間接法）を実施し遺伝的産肉能力を推定した。その結果、「平茂夏」の検定成績が特に優れていたことから、凍結精液の供給を開始した。

【種雄牛造成の概要】



種雄牛造成の概要

基幹種雄牛と基礎雌牛との交配により種雄牛候補を生産し、直接法により候補牛の飼料効率や体型等を調査する。間接法では候補牛の去勢雄子牛8頭を肥育し、枝肉形質を調査して基幹種雄牛となる個体を選抜します。

表1「平茂夏」間接検定成績(kg、cm²、cm、%)

項目	平茂夏 (n=8)	全国平均 (n=407)
日増体量	1.11 ± 0.10	0.94 ± 0.12
1kg増体TDN	6.23	-
枝肉重量	432 ± 27	360 ± 42
枝肉歩留	60.4 ± 1.0	-
ロース芯面積	52 ± 5.9	48 ± 6
皮下脂肪厚	2.3 ± 0.4	2.2 ± 0.6
バラの厚さ	6.9 ± 0.8	6.4 ± 0.7
推定歩留	73.4 ± 0.7	73.5 ± 1.0
脂肪交雑	3.3 ± 0.8	2.9 ± 0.9
枝肉格付	A5:6 A4:1 A3:1	A5:56.0% A4:24.3%

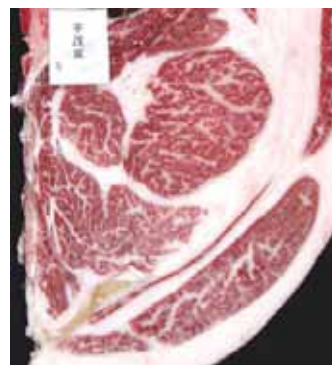
産肉能力検定（間接法）の概要

日増体量 1.11kg、枝肉重量 432kg、ロース芯面積 52cm²、バラの厚さ 6.9cm、脂肪交雑 3.3 と各形質について全国平均を上回った。

特に枝肉重量 432kg は一般的な肥育出荷(27～30ヶ月齢)のものと同程度であり、肉量と肉質に優れた成績を示す結果となった。



調査牛 No.8
母の父:安福栄
祖母の父:紋次郎
枝肉重量:433 kg
A 5



調査牛 No.5
母の父:北国 7-8
祖母の父:安福
枝肉重量:458 kg
A 5

産肉能力の特徴と交配ポイント

気高系の強い雌牛との交配では、ややロース芯面積が小さく、脂肪交雑も低くなる傾向にあるが、田尻系および系桜系の雌牛との交配では枝肉重量、ロース芯面積、脂肪交雑に好成績が期待される。

担当研究室 畜産研究所 種山畜産研究室

〒029-2311 気仙郡住田町世田米字子飼沢30 TEL. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177